

MINE City Master Plan

# 第二次美祿市総合計画

令和2年度～令和11年度

若者・女性・地域がかがやき  
こどもの笑い声が響く  
「誇れる郷土・秋吉台のまち」

令和2年3月  
美祿市



## はじめに

### 『若者・女性・地域がかがやき こどもの笑い声が響く 「誇れる郷土・秋吉台のまち」』の創生に向けて

本市は、平成22年3月に「第一次美祢市総合計画」を策定し、市が抱える諸課題を解決する取組を進めてきましたが、深刻化する人口減少や少子高齢化社会の進行など、本市が取り組むべき課題は山積しています。

このような状況の下、持続可能なまちづくりを目指し、市民が互いに尊敬し認め合いながら協働で取り組むまちづくりを推進し、若者や女性が活躍するまちづくり、課題に取り組む市民が活躍する地域づくりを通じ、本市で暮らすことの誇りと自信、喜びを感じることが必要です。このことから、10年後のまちづくりの「将来像」を『若者・女性・地域がかがやき こどもの笑い声が響く「誇れる郷土・秋吉台のまち」』として「第二次美祢市総合計画」を策定しました。

この将来像を実現していくため、特に少子化の課題に対し、若者や女性の定住は欠かすことができません。そのため、都市拠点・地域拠点を中心に集約型都市構造を推し進め、生活の利便性と子育て環境を高めること、生活拠点では、全世代が集い取り組み、市民一人ひとりがかがやく地域の活性化が重要です。

本市は、日本最大級のカルスト台地 秋吉台を有し、市民の憩いの場であるとともに、市民の宝、誇りであります。この本市の象徴的な価値である秋吉台は、多くの鉱物資源や秋芳洞等の観光、大地が生み出す農林水産物など、わたしたちに多くの恵みをもたらしています。この豊かな恵みを恩恵として留めることなく、更にその魅力を磨き上げ、市民や多様な主体が一体となって、魅力ある観光や産業の創造、豊かな地域経済を目指した地方創生の取り組みを推進していきます。これら新たなまちづくりの指針を総称し、「基本理念」を『秋吉台の魅力を活かし、みんなの力で創り出す！「観光・産業 共創CITY」』として定め、若者・女性の定住や活躍社会、全世代の取り組みによる地域の再生を生み出し、こどもの笑い声が響くかがやく美祢市の創生を図って参ります。

本計画で目指すまちの「将来像」の実現、「基本理念」で示すまちづくりの指針を市民ともに「オールみね」による「共創」で推し進めていく所存であります。ぜひ、市民の皆様をはじめ、市議会の皆様、各種団体・企業の皆様、内外の関係者の皆様など多くの方々のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定に携われました総合計画審議会委員の皆様には厚くお礼申し上げます。また、ワークショップにご参加いただきました市民の皆様、アンケートにご協力いただきました市民の皆様など関係各位に心から感謝申し上げます。



令和2年3月  
美祢市長 西岡 晃



# < 目 次 >

<b>第1章 序章</b> .....	<b>1</b>
1. 計画策定の趣旨.....	2
2. 社会潮流と美祢市の現状.....	2
3. 第一次美祢市総合計画後期基本計画の総括評価と方向性.....	9
4. まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価と方向性.....	16
5. 市民の意識（各種市民アンケート結果）.....	27
6. まとめ.....	39
<b>第2章 基本構想</b> .....	<b>43</b>
1. 計画の構成と期間.....	44
2. 新しいまちの目標.....	45
3. 土地利用構想.....	53
<b>第3章 基本計画</b> .....	<b>57</b>
基本目標1 「魅力の創出・交流」の拡大.....	60
基本目標2 強みを活かした「産業の振興」.....	72
基本目標3 市の宝となる「ひとの育成」.....	82
基本目標4 安全・安心な「まちづくり」.....	92
基本目標5 「行財政運営」の強化.....	113
<b>第4章 総合戦略</b> .....	<b>121</b>
重点戦略1 「働きたい！」希望を実現させる魅力産業の創出.....	125
重点戦略2 「結婚・産み育てたい！」願いが叶う環境の充実.....	130
重点戦略3 「訪れたい、参加したい、住んでみたい！」MINEの発信と交流の強化.....	134
重点戦略4 「ずっと住み続けたい！」安心を提供する暮らしの向上.....	137
重点戦略5 「持続可能なまちづくり」の推進.....	141
<b>第5章 個性豊かな地区づくりプロジェクト ～地区づくりの方向性～</b> .....	<b>143</b>
<b>資料編</b> .....	<b>179</b>

